

サーモスタット付シャワーバス水栓

BF-WL145型

BF-WL147型

BF-WL247型

BF-WM2U型

BF-WM22AU型

BF-WM145型

BF-WM146型

BF-WM147型

BF-WM246型

BF-WM247型

BF-WM345型

RBF-811型

RBF-812型

RBF-813型

RBF-814型

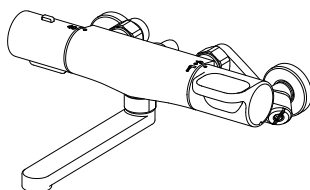
RBF-816型

RBF-817型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番ラベルの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。



この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

■ 各部の名称	1
■ 安全上のご注意	2
■ ご使用前に	5
■ ご使用方法	8
■ 凍結の恐れがある場合	10
■ 日常のお手入れ	12
■ 定期的なお手入れ	14
■ 定期的な部品交換のお願い	15
■ 修理を依頼される前に	16
■ アフターサービスについて	20

保証書 裏表紙

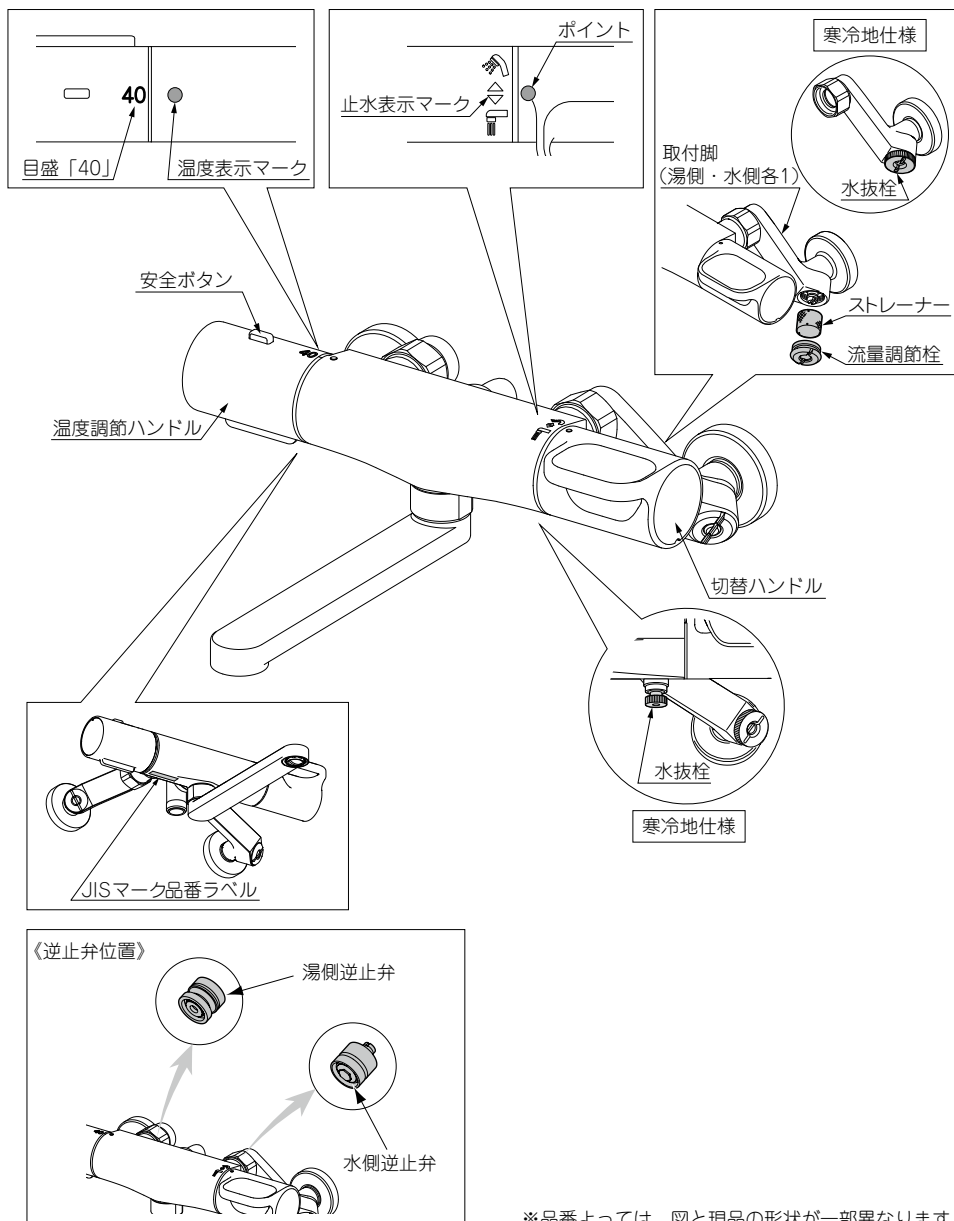
はじめに

つかいかた

お手入れ

こんなときは

各部の名称



※品番よっては、図と現品の形状が一部異なります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



…… 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



(禁止)

…… 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)



(分解禁止)

…… 「分解してはいけません!」



(禁止)

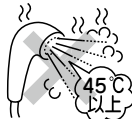
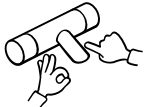
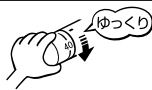
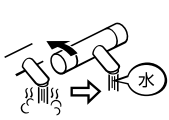
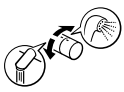
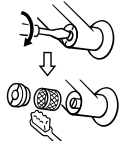
…… 「指示した場所には触れてはいけません!」



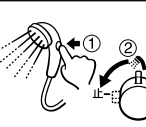
(指示)

…… 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

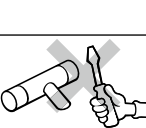
警告：ヤケドをしないために

 (禁止)	小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。 ※ ヤケドやケガをする恐れがあります。	
 (禁止)	給湯器の給湯温度設定は60℃より高温で使用しないでください。 ※ 水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。 サーモスタット付水栓の場合、十分な機能を発揮させるため給湯器の給湯温度は50℃以上をおすすめします。	
 (禁止)	シャワーには熱湯(45℃より高温)を通さないでください。 ※ シャワーヘッドが破損して、ヤケドやケガをする恐れがあります。 安全のため、シャワーは45℃以下のご使用をおすすめします。	
 (禁止)	水栓の給湯側(左側)は高温になっています。 水栓の表面に直接、触れないようにしてください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	高温の湯をお使いのときは、吐水口が高温になっています。 直接、触れないようにしてください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※ 正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	給水圧力 ≥ 給湯圧力 
 (指示)	ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※ 高温の湯が出てヤケドする恐れがあります。またシャワーと吐水口を切り替えたときも、湯の温度が高くなることがありますので、ご注意ください。	
 (指示)	定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※ 部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (指示)	温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ゆっくり回してください。 ※ ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻し、しばらく水を流してください。 ※ 次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	ご使用の前に、切替ハンドルでシャワー・吐水口どちら側から吐水されるか確認してください。 ※ 間違えるとヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	ストレーナーの掃除をする際は、ストレーナーを緩める前に、必ず先に流量調節栓を閉めてから行ってください。(P.13参照) ※ 湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

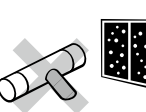
⚠ 警 告：ヤケドをしないために

 (禁止)	スイッチ付シャワーの場合、スイッチシャワーの吐水スイッチを誤って押さないでください。 ※ 急に高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (禁止)	スイッチ付シャワーの場合、スイッチシャワーを乱暴に床に置いたり、落としたりしないでください。 ※ 吐水スイッチが押され、急に高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
 (指示)	スイッチ付シャワーをご使用の前には、吐水スイッチが押されていることを確認してから切替ハンドルをシャワー側に回してください。 ※ 一時止水スイッチを押した状態でもシャワー側に回すと、一瞬シャワーが出るためヤケドをする恐れがあります。	

⚠ 注 意：正しくお使いいただくために

 (禁止)	シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。 ※ キズがつき、ケガをする恐れがあります。 「メッキタイプの場合」 シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL 修理受付センターに修理、交換を依頼してください。 有料作業 にて承ります。(P.20参照)。 ※ 機能部品が衝撃で破損し、漏水や故障の原因になります。 ※ タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。	
 (分解禁止)	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ 故障・破損の恐れがあります。	
 (指示)	切替ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※ 漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (指示)	ご使用後は吐水スイッチを押した状態で、水栓本体のハンドルで止水してください。	

⚠ 注 意：凍結防止のために

 (禁止)	【寒冷地仕様の場合】 水抜栓は水抜以外の目的で開けないでください。 ※ 水抜栓を不意に開けると高温の湯が吐出し、ヤケドをしたり、湯水がふき出して、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 (指示)	【一般地仕様の場合】凍結が予想される場合は、凍結予防の措置を行ってください。(P.10参照) 【寒冷地仕様の場合】配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。(P.10参照) ※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

ご使用前に

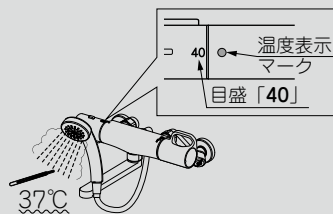
給湯器と組み合わせてご使用の場合

サーモスタット混合栓は、湯と水を混合して吐水温度を調整しています。

このため、**給湯器の設定温度より、**

吐水温度は低くなります。

(例)



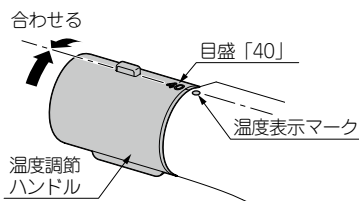
- 給湯器の設定温度は、希望の吐水温度より高めに設定してください。
※ 給湯温度は **50°C以上60°C以下** の設定をおすすめします。
ただし、ヤケド防止のため、60°Cを超えない設定にしてください。
- 給湯温度を変更すると、温調ハンドルの表示どおりの湯が出なくなる場合があります。
※ 温度調節ハンドルの再調整をしてください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が作動しない場合があります。
※ 給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、ご使用ください。

吐水温度の確認

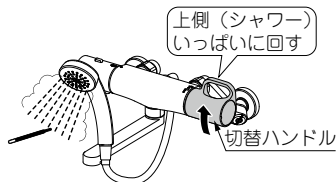
温度調節ハンドルは出荷時に設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの温度が出ないことがあります。

吐水温度が表示どおりにになっているか次の手順で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの目盛「40」を温度表示マークに合わせます。



2. 切替ハンドルを上側（シャワー）に回して全開にし、吐水温度を確認します。



吐水温度が	適温（約40°C）である	そのままご使用いただけます。
	適温（約40°C）に合っていない	P.6の「温度調節ハンドルの設定」を参照し再調整をしてください。 LIXIL 修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも 有料作業 となります。

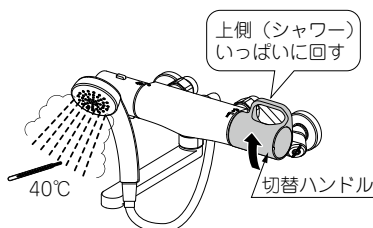
温度調節ハンドルの位置調整

吐水温度と温度調節ハンドルの表示が合っていない場合は、次の手順でハンドルの位置調整をしてください。LIXIL修理受付センターにおいてもハンドル調整を承りますが、保証期間内でも**有料作業**となります。

※ハンドルの位置調整手順は、動画でもご確認頂けます。



1. 切替ハンドルを上側（シャワー）に回して全開にし、目盛「40」に関係なく吐水温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。
※ 品番によっては操作方法が異なります。

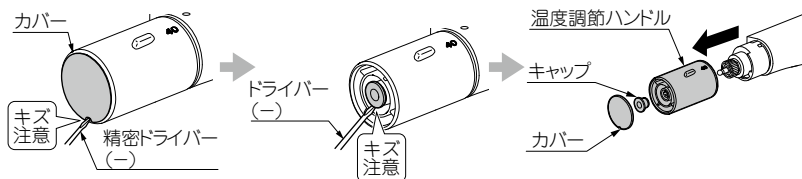


ポイント

【高温の湯を出す場合】

温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、目盛「40」を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。

2. 吐水温度が適温（約40℃）になったところで止水し、温度調節ハンドルが回らないように注意して、カバー、キャップ、温度調節ハンドルの順に取り外します。



注意

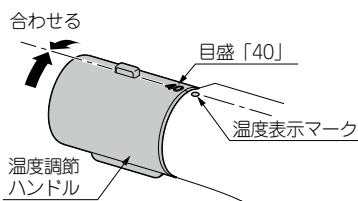
カバー・キャップを取り外す時は、慎重に行ってください。

※ 無理に取り外そうとすると、キズ、破損の原因になります。

ポイント

キャップを外すと温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。

3. 取り外した温度調節ハンドルの目盛「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップ、カバーを取り付けます。



注意

取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛「40」で吐水温度が約40℃になっているかを確認してください。

※ 高温の湯が出て、ヤケドの恐れがあります。

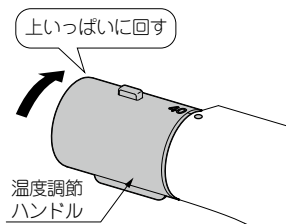
ポイント

キャップを奥までしっかり挿入します。

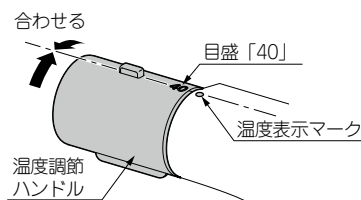
流量の調節

流量が多い場合は、湯側・水側の流量調節栓をそれぞれ次の手順で調整してください。

1. 温度調節ハンドルを合わせます。
上(水側)いっぱいに戻します。



4. 温度調節ハンドルの目盛「40」と
温度表示マークを合わせます。



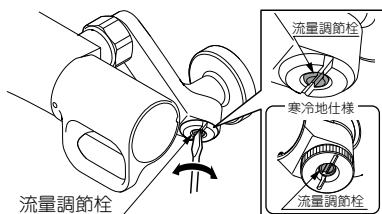
2. 切替ハンドルを下側(吐水口)へ回し、
全開で吐水します。
※ 品番によっては操作方法が
異なります。



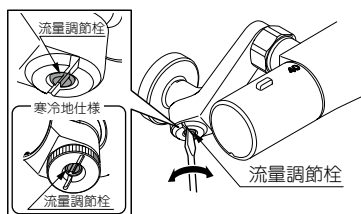
5. 切替ハンドルを下側(吐水口)へ回し、
全開で吐水します。
※ 品番によっては操作方法が
異なります。



3. マイナスドライバーで水側(右)の
流量調節栓を調節します。



6. マイナスドライバーで湯側(左)の
流量調整線を調節します。



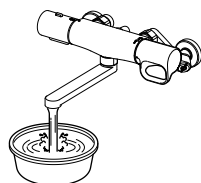
ポイント

最適な流量とは…

洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに、約10秒弱が目安です。

(=20L/分 程度)

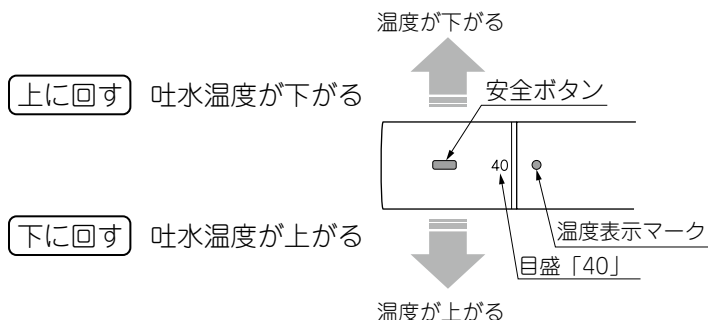
※ シャワー流量も快適になっているか、あわせてご確認ください。



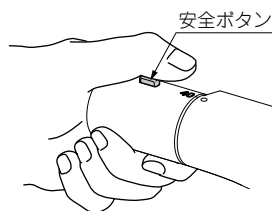
ご使用方法

温度調節ハンドルの使い方

温度調節ハンドルを回すと、吐水温度が調整できます。



温度調節ハンドルには、安全ボタンがついており、目盛「40」を少し過ぎたところで一度ロックされます。さらに高温側に回したいときは、安全ボタンを押しながら回します。



注意

- 高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを目盛「40」以下に戻してください。
※ヤケドをする恐れがあります。
- 吐水温度はシャワー側と吐水口側で温度差がある場合があります。

ポイント

【いつも快適にご使用していただくために】

給水温度は季節によって一定ではありません。
給水温度が変化することで温度のバランスが崩れやすくなるため、ハンドルの温度表示と吐水温度が合わなくなることがあります。

一年を通して快適にご使用いただくために、給湯器の設定温度を「夏は低め」「冬は高め」に設定することをおすすめします。

切替ハンドルの使い方

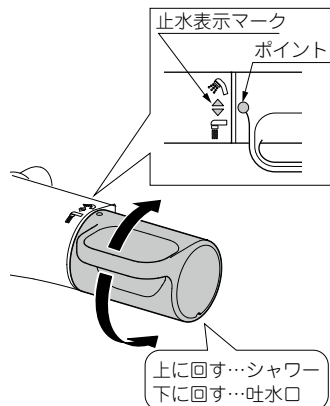
水(湯)をとめる

切替ハンドルのポイント(●)を本体側の
止水表示マーク(◆)の中央に合わせます。

水(湯)を出す

シャワー : 切替ハンドルを上に戻します。
上いっぱいまで回すと流量が
最大になります。

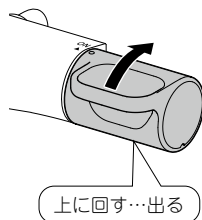
吐水口 : 切替ハンドルを下に戻します。
下いっぱいまで回すと流量が
最大になります。



[吐水口のみ、シャワーのみ仕様の場合]

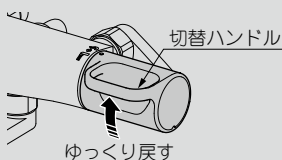
水(湯)を出す

切替ハンドルを上に戻します。
上いっぱいまで回すと流量が最大になり
ます。



注意

- 切替ハンドルはゆっくり操作してください。
流量を多く使用しているとき、急に止水
すると「ドン」と大きな音が発生します。
※ 配管の損傷や水漏れの原因となります。



- ご使用の前に、切替ハンドルで
シャワー・吐水口どちら側から
吐水されるか確認してください。
※ 不意に水をかぶったり、ヤケドの
恐れがあります。

- スイッチシャワーの場合は、
シャワーヘッドの吐水スイッチが
押されていることを確認した後、
切替ハンドルを操作して下さい。
※ 一時止水スイッチを押した
状態で切替ハンドルを操作
すると、ハンドルが重くなり故障
の原因となります。

ポイント

シャワーヘッドに同梱の「取扱説明書」がある場合は、あわせてご確認ください。

凍結の恐れがある場合

一般地仕様の水栓をお使いのお客様も必ずお読みください。

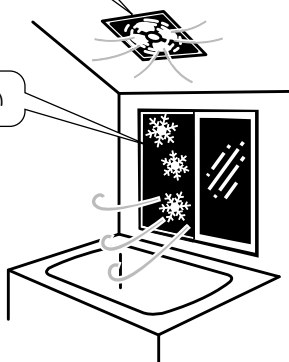
暖かい地域でも水栓や配管が凍結すると、部品が破損し水漏れが発生する恐れがあります。凍結による破損は、保証期間内でも**有料作業**となります。

凍結が予想される場合は、浴室内が氷点下にならないように下記の凍結予防を行ってください。

（凍結予防の例）

換気扇を点けたままにしない

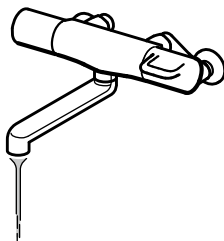
窓を開けたままにしない



一般地仕様の場合

氷点下になる恐れがある場合は下記の対策で凍結を防止できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流したままにする
- 配管部などに保温材を巻く



寒冷地仕様の場合

水栓内の水を抜き、凍結を予防する方法です。また、長期間使用しないときも、必ず下記の水抜き操作を行ってください。

スイッチ付シャワーヘッドの場合

STEP 1 ⇨ STEP 2

その他のシャワーヘッドの場合

STEP 2

STEP 1

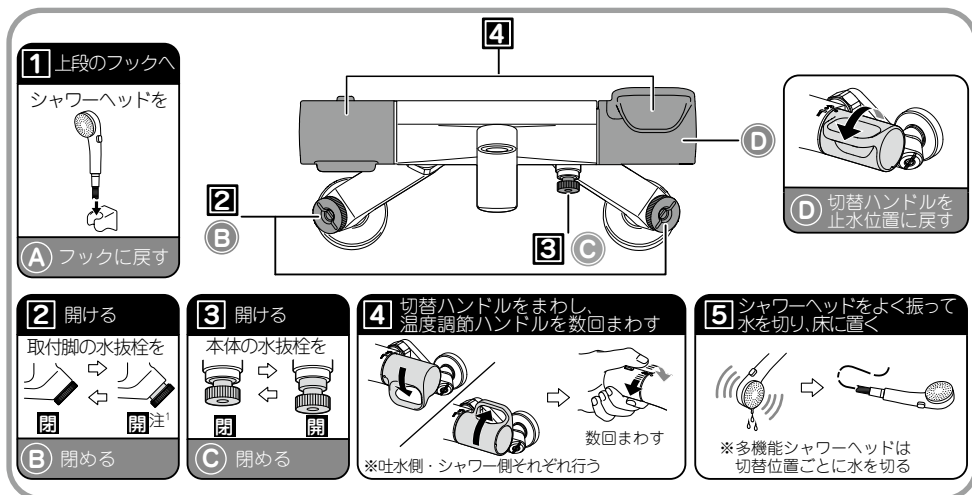
1. スwitch付シャワーヘッドの吐水スイッチを押して、切替ハンドルを上側(シャワー)に回し、シャワーヘッドから水を出す。
2. 切替ハンドルを止水位置に戻す。

STEP 2 水栓内の水抜き操作の前に、「配管の水抜き操作」を行ってください。

下記のイラスト手順 ①⇨②⇨③⇨④⇨⑤ に従って水栓内の水抜き操作を行ってください。



- 「配管の水抜き操作」が不十分ですと、水栓内に水が残り凍結の恐れがあります。
- 注意 ● 湯側(左)の取付脚が熱くなっている場合がありますので、注意してください。
- ※ ヤケドの恐れがあります。



通水再開のしかた

上記のイラスト手順 ①⇨②⇨③⇨④ に従って通水再開をしてください。

ポイント

水抜きを行っても、水栓内に残った水滴が凍りつき水が出ないことがあります。その場合は、水栓にタオルなどを巻き付け、ぬるま湯をかけてください。

日常のお手入れ

布などを使用したお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。



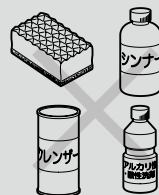
注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- 研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

※ ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



- メラミンフォーム(スポンジ)をご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
また、水栓の印字部分は、表示が消える恐れがあるので、使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。
- 着色されたうがい薬などが製品に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
※ 薬品等が付着したまま放置すると製品表面の変色の原因となります。

ストレーナーの掃除

吐水量が少なくなった場合はストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。
ときどき次の手順で掃除を行ってください。

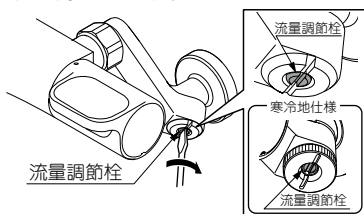


注意

ストレーナーの掃除をする前に必ず流量調節栓を閉めてください。

※ 閉じずに作業を行うと高温の湯が吐出しヤケドをしたり、
家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

1. マイナスドライバーで湯側・水側の流量調節栓を閉じます。



注意

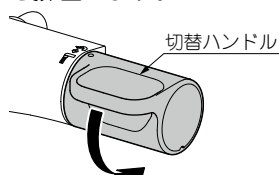
作業前に湯側(左)の
取付脚が熱くないか
確認してください。

※ ヤケドの恐れがあります。

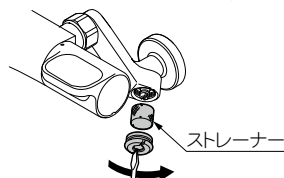
ポイント

- 湯側・水側の両方行うこと。
- 右側いっぱいまで回すこと。
- 閉じるときに、どの程度回転させたか覚えておくと清掃後の開度調整が容易になります。

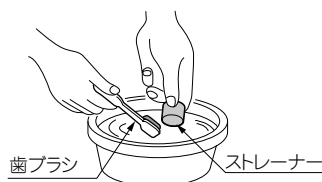
2. 切替ハンドルを回し
残水を排出します。



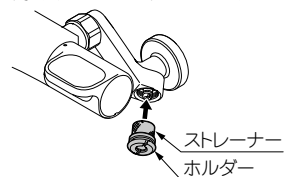
3. マイナスドライバーでホルダーを
緩めストレーナーを取り外します。



4. ストレーナーに付いたゴミや汚れを
歯ブラシ等を使用し水洗いします。



5. ホルダーとストレーナーを取り付け、
流量調節栓を元の位置まで開けます。



ポイント

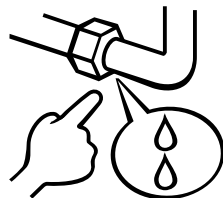
- 流量調節栓は、必ずホルダーとストレーナーを取り付けた後に開けること。
- 湯側・水側の両方行うこと。
- 清掃後、流量が合わなくなった場合は、P.7「流量の調節」を行うこと。

定期的なお手入れ

配管まわりの水漏れ点検（年2回以上）

- 水回りの水漏れがないか点検してください。
- ※ 劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

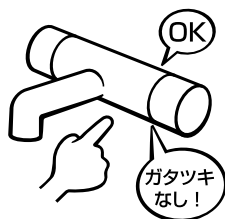
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、取付店（または販売店）またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ確認（年2回以上）

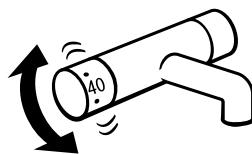
- 本体部のガタツキがないかを確認してください。
- ※ 配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

本体部にガタツキがある場合は、取付店（または販売店）またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



温度調節ハンドルの操作性確認（月1回）

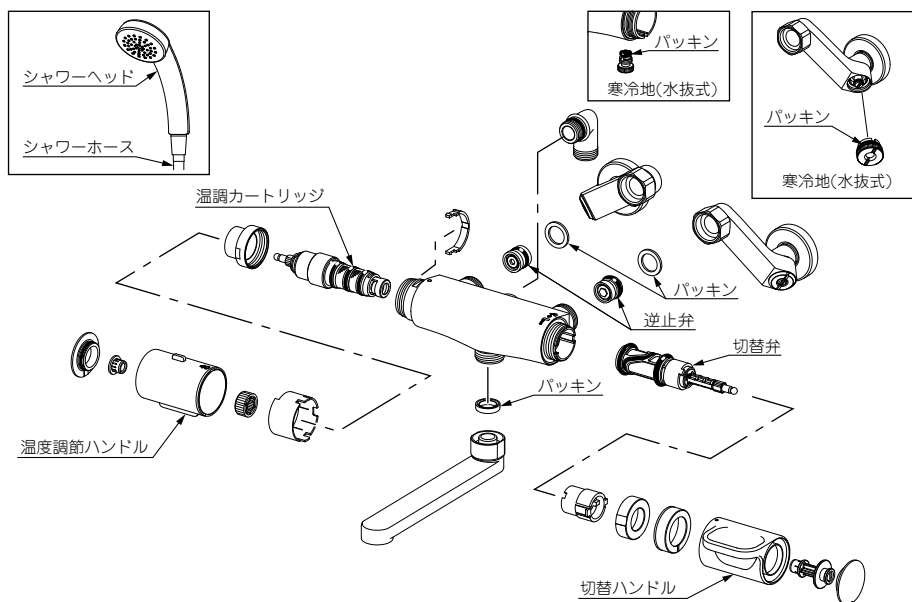
- 温度調節ハンドルをときどき回してください。
- ※ 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれる恐れがあります。



定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーフック、シャワーホース、バルブ部（切替弁など）、温調カートリッジ、パッキンなど
- 部品の交換については、取付店（または販売店）またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。



※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

〈定期的な点検・部品交換のめやす〉

使用年

/ 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12 /

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3～5年）

買換え
ご検討

修理を依頼される前に

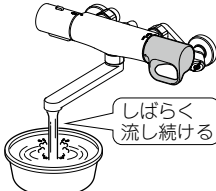
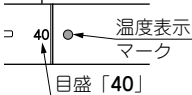
修理を依頼される前に、下記項目をご確認ください。

下表を確認しても直らない場合は、取付店（または販売店）またはLIXIL修理受付センターへご依頼ください。（→20ページ）

- 温度が安定しない、温度調節がうまくできない（→16-17ページ）
- 高温の湯が出ない（→17ページ）
- 流量が少ない（→18ページ）
- 水が止まらない（→18ページ）
- 接続部から水漏れする（→19ページ）
- 使用していないのに、切替ハンドル付近から水がポタポタ漏れる（→19ページ）
- 水栓本体から音がする（→19ページ）
- シャワーヘッドから音がする（→19ページ）

※ シャワーヘッドや給湯器の説明書もあわせてご確認ください。

温度が安定しない、温度調節がうまくできない

しばらく流しても改善しませんか？	給湯器と水栓金具の配管距離が遠い場合は、お湯が出てくるまで時間がかかります。 温度が安定するまでお湯を出し続けてから使用してください。 
他の場所（トイレ、キッチン、洗面など）で同時に水栓を使用していますか？	配管内の水圧が変化することで、温度が不安定になることがあります。 他の場所の水栓と同時に使用しないようにしてください。
給湯器の温度は正しく設定されていますか？	サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整しています。 給湯温度は50℃以上60℃以下に設定してください。（→5ページ） 50℃～60℃  

温度が安定しない、温度調節がうまくできない

キッチンや洗面水栓の
温度調節はうまくできて
いますか？

● 他の場所の水栓も不安定な場合

給湯器に原因がある可能性があります。
給湯器メーカーにお問い合わせください。

● 浴室の水栓のみ不安定な場合

温度調節ハンドルの再調整をしてください。

(→6ページ)

※LIXIL修理受付センターでもハンドル調整を承りますが、
保証期間内でも**有料作業**となります。

それでも直らない場合は、取付店(または販売店)または
LIXIL修理受付センターへご依頼ください。

(→20ページ)

温度調節ハンドルの表示
と吐水温度は合っ
ていますか？

給湯器の設定温度、季節による
給水温度変化により、表示どおりに
ならない場合があります。

温度調節ハンドルの位置調整を
してください。(→6ページ)

※ハンドルの位置調整手順は、
動画でもご確認ください。



流量を絞りすぎて
いませんか？

給湯器の運転に必要な流量よりも給湯器の流量が
少なくなると、給湯器が着火せず、水栓金具から安定した
お湯が出なくなります。

給湯器の取扱説明書にて最低作動流量をご確認の上、
湯側・水側の流量調節栓を調節してください。(→8ページ)

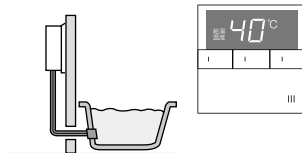
ストレーナーにゴミが
詰まっていますか？

ストレーナーにゴミ詰まりがないことを確認してください。
(→13ページ)

浴槽への湯はり中では
ありませんか？

湯はり中に水栓を使用する
と、浴槽の湯はり設定温度の
湯が水栓に供給されるため、
吐水温度が低くなることが
あります。

機器の故障ではありません。



高温の湯が出ない

給湯器の温度は正しく
設定されていますか？

サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整
しています。

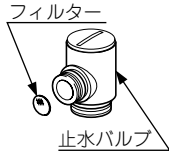
給湯温度は**50℃以上60℃以下**に設定してください。

(→5ページ)

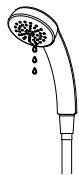
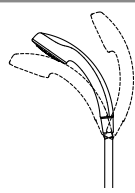
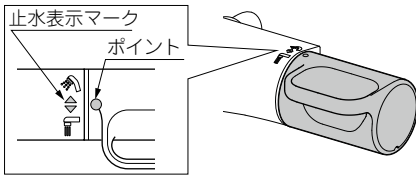
【高温出湯規制タイプの場合】

ヤケド防止のため、温度調節ハンドルは、約45℃付近でストップし、
それ以上回らなくなっています。故障ではありません。

流量が少ない

流量調節部は十分に開いていますか？	湯側・水側の流量調節栓が十分に開いていることを確認してください。(→7ページ)
ストレーナーやシャワー散水板にゴミが詰まっていますか？	ストレーナー汚れや目詰まりを取り除いてください。(→13ページ、シャワーヘッド取扱説明書)
【スイッチシャワーの場合】 止水バルブのフィルターに ゴミが詰まっていますか？	水栓本体から止水バルブを取り外し、 接続部にあるフィルターの掃除を 行ってください。 
給湯器の温度は正しく 設定されていますか？	サーモスタット混合栓は、湯水を混合して吐水温度を調整 しています。 給湯温度は 50℃以上60℃以下 に設定してください。 (→5ページ)

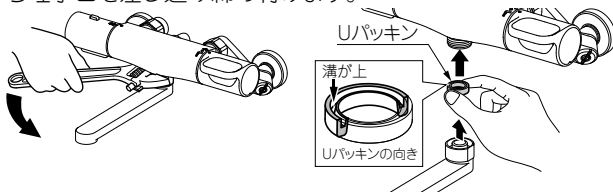
水が止まらない

シャワーから水が漏れ 続けているかを確認 してください。 	● しばらく経って水が止まる場合 シャワーヘッド内の残留水が排出されるため、 故障ではありません。 ポイント 角度調整式のシャワーフックをご使用の場合、 角度によっては、水を止めたときにシャワーから 水垂れしやすい角度があります。 その場合は、角度を調整してご使用ください。  ● 水が漏れ続けている場合 切替弁の故障が考えられます。取付店(または販売店)または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。 (→20ページ)
切替ハンドルが止水位置に 合っていますか？	シャワー・バス切替ハンドルの止水表示マークとポイントと 合っているかを確認、合っていないときは、 止水位置に合わせてください。 

接続部から水漏れする

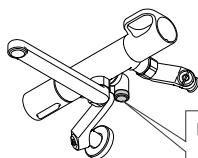
吐水口接続部から
水が漏れる

モンキーレンチ等を用いて固定ナットをしっかりと締め付けます。
吐水口が外れた場合は、先にUパッキンを水栓本体に挿入してから吐水口を差し込み締め付けます。



シャワーホース接続部から
水が漏れる

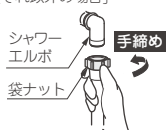
シャワーヘッドとホース、ホースとシャワーエルボまたはバルブをしっかりと固定します。



[金属ナットの場合]

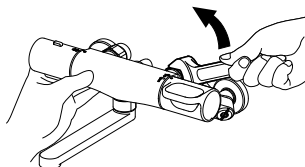


[それ以外の場合]



取付脚と本体の袋ナット
から水が漏れる

工具で袋ナットをしっかりと締め付けます。



水栓本体から音がする

切替ハンドルを急閉止して
いませんか？

ウォーターハンマー現象が考えられます。流量が多いときに急に止水すると「ドン」と大きな音が発生します。
流量調節栓で流量を少なくするか、ゆっくりとハンドルを閉めてください。

流量調節栓を適切に絞って
いますか？

水圧が高いことにより発生する流水音が考えられます。
流量を絞ることで流水音を低減することができます。
(→7ページ)

シャワーヘッドから音がする

シャワーから回転音がする。

水の勢いで内部部品が回転しているために発生する音であり、故障ではありません。

アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に(P.16)」を確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損のおそれがあります。



(分解禁止)

2. 保証書と保証期間

この商品は、保証書がついています。保証書は、取付店（または販売店）で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎていたときは》

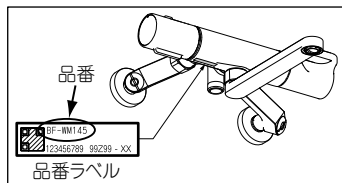
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番（商品に表示、右記参照） | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |



※品番は最後まで読みとってご連絡ください。

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低10年保有しています。**この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。**保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービスなどについておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》

取付店/販売店またはLIXIL修理受付センターへ

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00～19:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などは緊急時のみ対応）

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法など商品に関するお問い合わせは》

■お客さま相談センター

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く）

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さまなどの個人情報商品を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、取付店(または販売店)に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日／ご購入日・お客さま・取付店／販売店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：サーモスタット付シャワーバス水栓		(品番：)	
保証期間		取付日／ご購入日	
取付日より2カ年 ()		年 月 日	
お客さま	おなまえ	取付店／販売店	
	おところ		
	おでんわ	TEL () -	
() -			

お客さまへ ・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
 - 無料修理をお受けになる場合、取付店(または販売店)にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
 - ご転店、ご贈答品などで、本書に記載の取付店(または販売店)に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
 - 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - (1) 用途以外(車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用など)に使用した場合の故障および損傷などの不具合
 - (2) 指定業者や施工説明書などに基づかない施工および工事に起因する不具合
 - (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事に起因する故障および損傷などの不具合
 - (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - (5) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい錆など)または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境および公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - (8) 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫など)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - (9) 天災地変(火災、爆発など事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害など)に起因する不具合による故障および損傷
 - (10) 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
 - (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
 - (12) 消耗品(浄水カートリッジ、パッキン、ヒューズ、電池など)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - (13) 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷不具合
 - (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷
 - (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入および水あか固着に起因する不具合
 - (16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など)に起因する故障および損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書に取付日／ご購入日・お客さまのお名前・取付店／販売店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は、本書に明示した期間、条件のものにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、取付店(または販売店)または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
 - 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
 - 弊社ユニットバスルーム内に設置される場合は、ユニットバスルーム本体の無料修理規定(保証規定)に準じます。
- ※保証内容はWEB取扱説明書でもご確認いただけます。なお、予告なく内容や条件を変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始などを除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・

PHS・IP電話などではご利用

できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

■WEB修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

■お電話でも修理承ります

受付時間/9:00～19:00



TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

<https://www.lixil.co.jp/support/>

株式会社 LIXIL